

## 運用会社の運用部門と運用者



野村アセットマネジメント株式会社 執行役専務  
猿田 隆 CMA

スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの制定、NISAやiDeCoの導入もあり、改めて資産運用が注目されるようになってきた。一方で、世間一般的に運用会社の現場についての認知度はまだ低く、運用部門や運用者については理解されていないと感じることも多い。本誌を始めとする専門誌などでも運用の現場について紹介されたものは少ない。

そこで、運用会社の運用部門や運用者について少しでも関心を高めていただくきっかけになることを願って、日頃から考えていることをいくつか紹介したい。

### ○一流の運用者

一流の運用者は運用業務に関して一味違ったセンスを持っている上に並外れた真剣さで取り組んでいる。一流のプロスポーツ選手がセンス抜群な上に練習熱心であることと似ている。腕の立つ職人のようでもある。

運用は派手な仕事ではなく極めて単調なことを継続しなければいけない。好結果を見るまでには時間もかかるので、精神的にタフでなければ続けられない。一流の運用者はリターンを上げることに必死でありパフォーマンスが悪い時に言い訳もしない。良好なパフォーマンスが続いていても、警戒心を解かず、謙虚であることが多い。他人のまねでは優位